



貝塚市立二色小学校 校長室だより第6号

H22年5月27日発行

貝塚市二色1-3-1

Tel 072-438-2925 Fax 438-2926

児童の登下校の見守りへのご協力、ありがとうございます。

はじめて○○できたとき

5月25日(火)児童集会で、「はじめて小鳥がとんだ時」という詩を読みました。ご存知の方もいるかと思いますが、引用してみます。

はじめて小鳥がとんだとき

原田 直友

はじめて小鳥がとんだとき、
森は、しんとしずまった。

木々の小枝が、手をさしのべた。

うれしさと、不安で、小鳥の小さなむねは、

どきんどきん大きく鳴っていた。

「心配しないで。」と、かあさん鳥が、

やさしくかたをだいてやった。

「さあ、おとび。」と、とうさん鳥が、

ぼんとひとつかたをたたいた。

はじめて小鳥がじょうずにとんだとき、

森は、はく手かっさいした。

お家の方はいかがでしょうか？お子さんがはじめて寝返りした日のこと、はじめて歩いた日のこと、はじめて幼稚園へ行った日のこと・・・など、鮮やかに思い出されるのではないのでしょうか？

かあさん鳥(的存在)がいること、とうさん鳥(的存在)がいることは、子どもの成長には欠かせません。と同時に、「しんとしずまってくれる」「はく手かっさいしてくれる」森(的存在)=友達・仲間・家族・親戚・学校・地域・・・があると、喜びは更に大きくなり、それが広がって、別の人まではじめて○○できたりすることを、私達は知っています。

さて、皆さん、最近はいかがですか？「テスト80点、まあまあか」「洗濯物入れてくれたん？まだ？」

「お帰り。宿題したん？」と、次々ハードルを上げ、お子さんもお家の方もぎすぎすしたりしていませんか？

『よかったね』『よくがまんしたね』『お母さんよりすごいやん！』など、もし最近はじめてできた日のことを忘れていたら、ちょっと思い出して、今日は一緒に喜んでみませんか？

はじめてのご感想→

「青白」いつも大変楽しみにしております。毎回ためになることばかりでとても勉強になります。これからも発行を心待ちにしております。(3年生保護者の方より)